



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月14日

東

上場会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
コード番号 4583 URL <http://www.chiome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 茂  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 美女平 在彦 TEL 03-6383-3746  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	186	6.4	△574	-	△575	-	△574	-
28年12月期第3四半期	175	△18.9	△827	-	△827	-	△964	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△21.92	-
28年12月期第3四半期	△43.24	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,710	4,525	95.3
28年12月期	4,789	4,565	94.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 4,489百万円 28年12月期 4,527百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年12月期	-	0.00	-	-	-
29年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

当社の業績予想は、創業事業における現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため、創業支援事業の数値（売上高201百万円）のみ公表することといたしました。それに伴い、全社の業績予想についても記載していません。なお、直前に公表されている業績予想からの修正はありません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	26,781,500株	28年12月期	25,455,500株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	146株	28年12月期	146株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	26,215,625株	28年12月期3Q	22,307,923株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社の当第3四半期累計期間における創薬事業と創薬支援事業について、概況は以下のとおりとなります。

創薬事業においては、LIV-1205(ヒト化抗DLK-1抗体)及びLIV-2008b(ヒト化抗TROP-2抗体)の2つの抗体について、ADC用途での全世界における独占的な開発・製造・販売権に関するオプションライセンス契約の下、スイスのADC Therapeutics社(以下「ADCT社」といいます)にて評価が行われておりました。ADCT社よりオプション権を行使する旨の通知を受領したLIV-1205につきましては、2017年9月に同社とライセンス契約を締結いたしました。当該契約締結により、当社はADCT社にLIV-1205のADC用途での全世界におけるサブライセンス権付きの独占的な開発・製造・販売権を供与し、ADCT社よりライセンス契約一時金を受領しました。今後、ADCT社において研究開発が推進され各ステージに設けられた開発マイルストーンを達成できた場合には、当社はその進捗に応じたマイルストーン料を受領、また、上市された場合には、各年度の売り上げに応じたロイヤルティと販売総額に応じた販売マイルストーン料を受領する予定となっております。

また、LIV-1205の通常抗体は、2016年10月に米国国立がん研究所(National Cancer Institute; NCI)と締結した契約下で、小児がんに対する新薬候補の評価を目的とした組織であるPediatric Preclinical Testing Consortium(以下、「PPTC」といいます)にて、動物モデルでの薬効評価が引続き実施されております。さらに、LIV-1205の通常抗体の自社での初期臨床開発を目指した準備として、社内体制の構築、治験薬製造に向けたCMO(受託製造機関)の選定を行っておりましたが、2017年9月、当社はドイツProBioGen社を臨床開発に向けたGMP治験薬製造の委託パートナーとして選定いたしました。ProBioGen社は1994年に設立された抗体の治験薬製造における豊富な経験を持つ会社であり、抗体のADCC活性(抗体依存性細胞傷害活性)を高める独自のGlymaxX®という技術を保有しております。

一方、LIV-2008bは、2017年6月にADCT社からオプション権を行使しない旨の通知を受領しました。これによりADCT社とのオプションライセンス契約は終了いたしました。今後当社は、得られている前臨床データに基づき、引き続き研究開発及び導出活動を継続いたします。

以上の結果、当該事業における当第3四半期累計期間の売上高は42,694千円(前年同四半期比24,102千円増加)、セグメント利益(売上総利益)は41,017千円(前年同四半期比25,334千円増加)となりました。

創薬支援事業においては、中外製薬株式会社及びシンガポールのChugai Pharmabody Research Pte. Ltd.との契約に基づく研究開発活動及び受託事業を行なっております。また、田辺三菱製薬株式会社及びTanabe Research Laboratories U.S.A, Inc.との契約に基づく抗体作製プロジェクトも進めております。その他、ADLib®システムを活用した新たな受託案件及び共同研究も実施しております。

以上の結果、当該事業における当第3四半期累計期間の売上高は143,716千円(前年同四半期比12,959千円減少)、セグメント利益(売上総利益)は83,566千円(前年同四半期比23,901千円増加)となりました。

研究開発活動におきましては、ADLib®システムを用いた共同研究や、ハイブリドーマ、Bセルクローニング等の抗体作製技術を活用した、アンメットメディカルニーズが存在する疾患に対する治療用抗体の創製を中心に研究開発を実施しております。以上の研究開発活動の結果、当第3四半期累計期間における研究開発費は321,388千円となりました。なお、当社は抗体作製技術を核として事業を展開しており、全ての保有資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、研究開発費を各報告セグメントへ配分しておりません。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は186,410千円(前年同四半期比11,142千円増加)、営業損失は574,651千円(前年同四半期は827,309千円の営業損失)、経常損失は575,504千円(前年同四半期は827,775千円の経常損失)となりました。四半期純損失は574,592千円(前年同四半期は964,511千円の四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態の分析

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は4,483,486千円となり、前事業年度末と比較して198,031千円減少いたしました。これは主に、販売費及び一般管理費の支払による現金及び預金の減少によるものです。

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は226,619千円となり、前事業年度末と比較して118,983千円増加いたしました。これは主に、株式会社Trans Chromosomicsへの出資による投資有価証券の増加によるものです。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は184,528千円となり、前事業年度末と比較して39,546千円減少いたしました。これは主に、返済による1年内返済予定の長期借入金や資産除去債務の減少によるものです。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は4,525,577千円となり、前事業年度末と比較して39,500千円減少いたしました。これは、四半期純損失による利益剰余金の減少が、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加を上回ったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に発表いたしました平成29年12月期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,553,178	4,352,339
売掛金	46,950	34,858
たな卸資産	35,475	33,856
未収消費税等	31,926	23,401
その他	13,986	39,030
流動資産合計	4,681,517	4,483,486
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置	459,689	345,173
減価償却累計額	△437,473	△328,784
機械及び装置(純額)	22,216	16,388
工具、器具及び備品	118,453	108,311
減価償却累計額	△105,353	△99,149
工具、器具及び備品(純額)	13,100	9,162
有形固定資産合計	35,316	25,551
投資その他の資産		
投資有価証券	—	150,000
長期前払費用	324	3,583
敷金及び保証金	71,995	47,485
投資その他の資産合計	72,319	201,068
固定資産合計	107,635	226,619
資産合計	4,789,153	4,710,106

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,565	22,223
1年内返済予定の長期借入金	50,004	16,660
未払金	34,705	39,386
未払費用	20,546	19,955
未払法人税等	20,702	31,804
預り金	5,815	9,134
前受収益	2,815	—
賞与引当金	11,932	4,853
流動負債合計	169,088	144,017
固定負債		
長期借入金	4,159	—
資産除去債務	50,827	40,511
固定負債合計	54,986	40,511
負債合計	224,075	184,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,186,379	5,454,775
資本剰余金	5,176,379	5,444,775
利益剰余金	△5,834,757	△6,409,349
自己株式	△292	△292
株主資本合計	4,527,709	4,489,908
新株予約権	37,368	35,668
純資産合計	4,565,078	4,525,577
負債純資産合計	4,789,153	4,710,106

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	175,267	186,410
売上原価	99,920	61,827
売上総利益	75,346	124,583
販売費及び一般管理費		
研究開発費	489,654	321,388
その他	413,002	377,847
販売費及び一般管理費合計	902,656	699,235
営業損失(△)	△827,309	△574,651
営業外収益		
受取利息	150	41
有価証券利息	2,156	—
為替差益	577	1,095
補助金収入	4,007	—
その他	742	418
営業外収益合計	7,634	1,555
営業外費用		
支払利息	413	170
株式交付費	750	1,894
新株予約権発行費	6,896	—
その他	40	343
営業外費用合計	8,099	2,408
経常損失(△)	△827,775	△575,504
特別利益		
固定資産売却益	—	2,050
新株予約権戻入益	4,437	2,433
特別利益合計	4,437	4,483
特別損失		
固定資産売却損	—	1,755
投資有価証券評価損	113,999	—
特別退職金	24,800	—
特別損失合計	138,800	1,755
税引前四半期純損失(△)	△962,138	△572,777
法人税、住民税及び事業税	3,757	1,815
法人税等調整額	△1,384	—
法人税等合計	2,372	1,815
四半期純損失(△)	△964,511	△574,592



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ268,395千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が5,454,775千円、資本剰余金が5,444,775千円になっております。